

大項目	Ⅱ 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置
-----	--------------------------------

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	----------------------------

事業名	(1) 共通的な事務の一元化による業務の効率化									
担当者	担当部課		総務企画課		事業責任者		総務企画課長 藤本慎也			
実績・成果	・「研究・学芸系職員連絡協議会」を実施し、各博物館における翌年度の展覧会企画等について調整を行い、計画を図った。 ・グループウェアを機構全体で一本化し、7 月以降本部および各施設にて順次、運用を開始した。機構内全職員が一本化されたグループウェア「サイボウズ・ガルーン 2」を利用することで、機構内の連絡および情報共有が大幅に効率化し、セキュリティが向上した。 ・国立文化財機構規程集 PDF 版をグループウェア上で閲覧可能とした。機構内職員が常に最新版を参照できるようになった。 ・給与明細のウェブ閲覧を平成 23 年 3 月給与より試行運用を開始し、業務効率化と経費削減に加え利便性向上が見込まれる。 ・財務会計システムの更新手続きに着手し、23 年 4 月入札公告・24 年 4 月運用開始に向けて準備を進めた。									
補足事項	・グループウェア「サイボウズ・ガルーン 2」利用実績（平成 22 年度） 機構全体 930 ユーザ （本部・東博 210 ユーザ、京博 100 ユーザ、奈博 60 ユーザ、 九博 150 ユーザ、東文研 150 ユーザ、奈文研 260 ユーザ） ・国立文化財機構規程集は、PDF 版の利用開始とともに紙媒体の部数を減らし、差替業務が省力化された。 ・給与明細ウェブ閲覧の開始により、各職員が随時閲覧・印刷が可能となった。グループウェア用の VPN(Virtual Private Network)を活用し、機構内からのみ閲覧可能とし、移行期間として平成 23 年 3 月・4 月給与まで紙媒体による給与明細も並行して配布。正式運用は平成 23 年 5 月給与からの予定である。									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	19	20	21	22	
	—	—	—	—		—	—	—	—	
年度実績 評価総括	S ㊤ B C F (S、F の理由)									
中期計画 記載事項	共通的な事務の一元化による業務の効率化									
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調					

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化																																																																																						
事業名	(2) 使用資源の減少																																																																																						
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、京都国立博物館総務課、 奈良国立博物館総務課、九州国立博物館総務課、東京 文化財研究所管理部、奈良文化財研究所管理部管理課			事業責任者	事務局長 金谷史明																																																																																	
実績・成果	・ 日常の節電節水の周知徹底、夏季の軽装励行、冷暖房の省エネ運転等を行った。 ・ 廃棄物削減では、ミスコピーの防止及び両面印刷の励行、館内 LAN・電子メール等の活用による文書のペーパーレス化を引き続き行っている。 ・ リサイクルの実施（廃棄物の分別収集、リサイクル業者への古紙受け渡し、再生紙の発注等） 使用資源の推移等 光熱水料金 (単位：千円) <table><tr><th>事項</th><th>21 年度</th><th>22 年度</th><th>差額</th></tr><tr><td>電気料</td><td>366,202</td><td>350,947</td><td>△15,255</td></tr><tr><td>水道料</td><td>93,651</td><td>79,777</td><td>△13,874</td></tr><tr><td>ガス料（※1）</td><td>92,510</td><td>98,213</td><td>5,703</td></tr><tr><td>計</td><td>552,363</td><td>528,937</td><td>(4.24%減) △23,426</td></tr></table> ※ガスは、全体として使用量ベースでは減少したが、原料高騰による単価上昇により使用料金ベースで増額となった。 (※1) ガス使用量等 <table><tr><th>事項</th><th>21 年度 (m³)</th><th>22 年度 (m³)</th><th>差引 (m³)</th><th>単価影響額 (千円)</th></tr><tr><td>ガス使用料</td><td>1,521,140</td><td>1,475,110</td><td>△46,030</td><td>7,785</td></tr></table> (参考) 特殊要因を考慮した光熱水料金 (単位：千円) <table><tr><th>事項</th><th>21 年度</th><th>22 年度</th><th>差額</th></tr><tr><td>電気料</td><td>366,202</td><td>350,947</td><td>△15,255</td></tr><tr><td>水道料</td><td>93,651</td><td>79,777</td><td>△13,874</td></tr><tr><td>ガス料</td><td>92,510</td><td>90,428</td><td>△2,082</td></tr><tr><td>計</td><td>552,363</td><td>521,152</td><td>(5.65%減) △31,211</td></tr></table> ※ガス単価上昇等を勘案して算定。 廃棄物排出量 (単位：kg) <table><tr><th>事項</th><th>21 年度</th><th>22 年度</th><th>増減率 (%)</th></tr><tr><td>一般廃棄物（※2）</td><td>228,045</td><td>273,407</td><td>19.89%</td></tr></table> (※2) 一般廃棄物増加の特殊要因 (単位：kg) <table><tr><th>施設</th><th>内容</th><th>金額</th></tr><tr><td>奈良国立博物館</td><td>西新館耐震改修工事等に伴う増加</td><td>47,500</td></tr><tr><td>奈良文化財研究所</td><td>平城遷都 1300 年祭関連行事に伴う増加</td><td>2,700</td></tr><tr><td colspan="2">小計</td><td>50,200</td></tr></table> (参考) 特殊要因を考慮した廃棄物排出量 (単位：kg) <table><tr><th>事項</th><th>21 年度</th><th>22 年度</th><th>増減率 (%)</th></tr><tr><td>一般廃棄物</td><td>228,045</td><td>223,207</td><td>△2.12%</td></tr></table>									事項	21 年度	22 年度	差額	電気料	366,202	350,947	△15,255	水道料	93,651	79,777	△13,874	ガス料（※1）	92,510	98,213	5,703	計	552,363	528,937	(4.24%減) △23,426	事項	21 年度 (m³)	22 年度 (m³)	差引 (m³)	単価影響額 (千円)	ガス使用料	1,521,140	1,475,110	△46,030	7,785	事項	21 年度	22 年度	差額	電気料	366,202	350,947	△15,255	水道料	93,651	79,777	△13,874	ガス料	92,510	90,428	△2,082	計	552,363	521,152	(5.65%減) △31,211	事項	21 年度	22 年度	増減率 (%)	一般廃棄物（※2）	228,045	273,407	19.89%	施設	内容	金額	奈良国立博物館	西新館耐震改修工事等に伴う増加	47,500	奈良文化財研究所	平城遷都 1300 年祭関連行事に伴う増加	2,700	小計		50,200	事項	21 年度	22 年度	増減率 (%)	一般廃棄物	228,045	223,207	△2.12%
事項	21 年度	22 年度	差額																																																																																				
電気料	366,202	350,947	△15,255																																																																																				
水道料	93,651	79,777	△13,874																																																																																				
ガス料（※1）	92,510	98,213	5,703																																																																																				
計	552,363	528,937	(4.24%減) △23,426																																																																																				
事項	21 年度 (m³)	22 年度 (m³)	差引 (m³)	単価影響額 (千円)																																																																																			
ガス使用料	1,521,140	1,475,110	△46,030	7,785																																																																																			
事項	21 年度	22 年度	差額																																																																																				
電気料	366,202	350,947	△15,255																																																																																				
水道料	93,651	79,777	△13,874																																																																																				
ガス料	92,510	90,428	△2,082																																																																																				
計	552,363	521,152	(5.65%減) △31,211																																																																																				
事項	21 年度	22 年度	増減率 (%)																																																																																				
一般廃棄物（※2）	228,045	273,407	19.89%																																																																																				
施設	内容	金額																																																																																					
奈良国立博物館	西新館耐震改修工事等に伴う増加	47,500																																																																																					
奈良文化財研究所	平城遷都 1300 年祭関連行事に伴う増加	2,700																																																																																					
小計		50,200																																																																																					
事項	21 年度	22 年度	増減率 (%)																																																																																				
一般廃棄物	228,045	223,207	△2.12%																																																																																				
補足事項																																																																																							
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	19	20	21	22																																																																														
	光熱水料	4.24%減	年間 1.03%減	S		1.6%増	2.3%減	8.8%減	4.24%減																																																																														
	一般廃棄物排出量	2.12%減	年間 1.03%減	S		2.9%減	9.3%減	7.9%減	2.12%減																																																																														
年度実績 評価総括	(S) A B C F (S、F の理由)																																																																																						
中期計画 記載事項	(2) 使用資源の減少 ・ 省エネルギー（5 年期間中 1 年に 1.03% の減少） ・ 廃棄物減量化（一般廃棄物排出量を 5 年期間中 5% 減少） ・ リサイクルの推進																																																																																						
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調																																																																																		

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	----------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進									
担当者	担当部課	総務課	事業責任者			総務課長 樋口 理央				
実績・成果	企業等のパーティー、撮影（映画、ドラマ、雑誌等）、茶室・講堂の貸出による施設の有効利用（それに伴う収入増）を図った。									
	項目					平成 22 年度				
	茶室					112 件（内 有償貸付 45 件）				
	講堂等 （講堂、会議室、研修室）					304 件（内 有償貸付 89 件）				
	その他 （上記以外の敷地建物）					7 件（内 有償貸付 7 件）				
	撮影					115 件（内 有償貸付 115 件）				
	合 計					538 件 収入額 27,987 千円				
	入館者の拡大を目的とするコンサートとして、 「ファミリーコンサート」（8 月 8 日 共催：東京クラリネットクワイアー） 「長唄コンサート」（7 月 4 日 共催：音楽の花束） 「チェロとハープのコンサート」（6 月 20 日 共催：サロン・ド・ソネット） 等を、演芸として、 「新春東博寄席」（1 月 15 日） など様々なイベントを実施した。									
補足事項	撮影件数のさらなる増加のため、 ・今までの料金体系を見直した（ムービー、スチールの料金を分け、また 1 時間毎の料金体系とした）。 ・昨年度作成した撮影案内パンフレットを、さらに撮影可能な場所の写真を増やした改訂版を作成し、過去の利用会社、出版社、テレビ等映像製作会社、広告代理店、フリーカメラマン等に送付した。 ・23 年 2 月より、インターネットロケーション検索サイト（ロケなび!）に登録した。これによりそのサイトを見た会社からの問い合わせが急増した。 講堂利用件数の増加のため、 ・8 月から 23 年 1 月まで会議室検索サイト（会議室ドットコム）に登録した。当該ページへのアクセスは 906 件あり、当館の講堂貸出についての周知が図れた。 ・講堂設備の一新（小講堂：カーペット・テーブル・イス、大講堂：演台・録画設備） 茶室利用件数の増加のため、 ・都内近郊のカルチャーセンターへ茶室案内パンフレットを置いていただけるようお願いし、了解をいただいたところへ発送した。 法隆寺宝物館イベント利用の増加のため ・黒門（宝物館イベント時の入口）前の道路柵を東京都に申請し、撤去した。これにより外から黒門へのアクセスが容易となった。 施設の有効利用件数について、21 年度は利用申込数としていたが、22 年度からは利用申込日数とし、複数利用日の場合に日数分をカウントすることとした。 3 月 11 日の東日本大震災の影響で、15 件がキャンセルとなった（うち茶室 4 件、講堂等 6 件、その他 2 件、撮影 3 件）。									
定量的評価	項目		実績	目標値	評価	経年変化	19	20	21	22
	施設の有効利用件数 うち有償利用件数		538 件 256 件	— —			885 350	574 238	341 262	538 256
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、F の理由)									
中期計画 記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進									
中期計画に対して順調に成果を上げているか。				順調						

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	----------------------------

事業名	(3)施設有効使用の推進								
担当者	担当部課	総務課	事業責任者	総務課長 植田 義雄					
実績・成果	今年度は庭園を積極的に活用するなど施設の有効利用の推進を図った。 なお、平常展示館建替工事に伴い一昨年度 12 月 8 日より講堂が使用できなくなったため、展覧会等に関する講演会、夏期講座及びらくご博物館は館外の施設を利用して行うこととなった。								
	庭園（丸池周辺） ・「雨月物語」映画鑑賞会（開催日 2 日 入場者 317 名） ・自転車発電エコライブ（開催日 1 日 入場者約 100 名）								
	庭園（特別展示館前） ・音燈華（開催日 1 日 入場者数約 270 名）								
	館外の施設を利用 ・展覧会等に関する講演会（講座回数 15 回 聴講者数 合計 2,076 名） ・夏期講座（開催日 3 日間 参加者 205 名） ・らくご博物館（年 3 回 入場者 509 名）								
	また、外部団体等の講演会・研修会等への施設の貸出を積極的に行った。								
	施設有効利用件数 使用料								
	茶室 32件（うち有償 32件） 339,500円								
	研修室等 15件（うち有償 1件、無料14件） 4,725円								
	その他 10件（うち有償 10件） 368,239円								
	撮影利用 2件（うち有償 1件、無料 1件） 9,450円								
計 59件（うち有償 44件、無料15件） 721,914円									
補足事項	庭園（丸池周辺） ・初めての試みとして、庭園を利用した「雨月物語」映画鑑賞会（計 2 回）を開催し、大盛況であった。 ・今回で開催 3 回目となる「自転車発電エコライブ」を青空の下庭園において開催し、一般観覧者も自転車発電のこぎ手として参加、大盛況であった。								
	庭園（特別展示館前） ・全館休館期間中に「音燈華」という音楽イベントを開催し、大盛況であった。								
	茶室 ・当館に茶室が設けられていることが浸透してきているようで、茶道愛好家の利用が多い。								
	講堂の建替にともなう措置 ・講堂については、平常展示館建替工事に伴いリニューアルオープンするまで、約 5 年間使用できない。このため、「土曜講座」・「らくご博物館」の開催会場は、館外の施設を利用し、今後も継続開催する。 ・昭和 48 年から毎週土曜日に開講の「京都国立博物館土曜講座」の会場として活用し、当館の長寿看板講座となっている。館外の施設を利用しているにもかかわらず、盛況であった。 ・当館の恒例となっている夏期講座も館外の施設を利用したが、盛況であった。 ・「京都・らくご博物館」も館外の施設による開催であったが、毎回ほぼ満席の盛況であった。								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	19	20	21	22
	施設の有効利用件数 うち有償利用件数	59 件 44 件	— —	— —		56 30	57 29	35 26	59 44
年度実績 評価総括	S ㊤ B C F (S、Fの理由)								
中期計画 記載事項	(3) 施設有効利用の推進 ・施設の利用推進								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。			順調						

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	----------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進																																																					
担当者	担当部課	総務課渉外室	事業責任者	総括専門職員 吉田貴至																																																		
実績・成果	・施設の利用 講堂：公開講座（12回、1,522人）、サンデートーク（12回、621人）、正倉院展ボランティア解説（20日間計110回）、世界遺産学習（30校、2,221人）、セクシュアル・ハラスメント研修会（43人）、文化財保存修理所特別公開（2回、353人） ・イベント等の実施 講堂：まほろば寄席（2回）、トークイベント（「大遣唐使展の楽しみ方」、大遣唐使展で仏像に会おう！）、シンポジウム（東アジアの造形芸術と遣唐使の時代）、特別陳列「おん祭と春日信仰の美術」関連イベント「金春徳高 能を語る」、「お水取り講話と粥の会」 地下回廊：「奈良生まれのブロックおもちゃで遊ぼう！」、高精細デジタル画像による「吉備大臣入唐絵巻」の全巻展示 西新館ピロティ北側：昨年までに展示された正倉院宝物を紹介した「NHK 日曜美術館」の映像放映 文化財保存修理所：特別公開 普段は公開していない修理所を当館研究員の解説付きで公開 ・会場提供 敷地内：なら燈花会、コンサート（「秦 基博」 TALK&LIVE）、第12回バサラ祭、「全国光とあかり祭」 講堂：いにしへの奈良八重桜再発見の集い、和歌劇「ヌカタ」公演、「なら国際映画祭2010」Roger Hsiao 監督作品「鑑真大和尚」上映、奈良市教育委員会主催教員研修講座、お水取り展鑑賞とお松明 なら瑠璃絵の会場 地下回廊：絵画コンクール入賞作品展示、正倉院展作文コンクール入賞作品展示、（シルクロード写真パネル展示）、「奈良のうまいもの」パネル展示 西新館ピロティ南側：正倉院展での呈茶席																																																					
補足事項	施設の有効利用件数 内訳 <table><tr><td>講演会等</td><td>31</td><td>(18)</td></tr><tr><td>修理所特別公開</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>茶会等</td><td>1</td><td>(1)</td></tr><tr><td>映画上映会</td><td>2</td><td>(1)</td></tr><tr><td>観光イベント</td><td>8</td><td>(1)</td></tr><tr><td>展示</td><td>6</td><td></td></tr><tr><td>まほろば寄席</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>トークイベント</td><td>3</td><td></td></tr><tr><td>シンポジウム</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>公開講座</td><td>12</td><td></td></tr><tr><td>サンデートーク</td><td>12</td><td></td></tr><tr><td>世界遺産学習</td><td>30</td><td></td></tr><tr><td>正倉院展ボランティア解説</td><td>20</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>16</td><td>(10)</td></tr><tr><td>計</td><td>146</td><td>(31)</td></tr></table> ()内は有償利用件数で内数  トークイベント  「金春徳高 能を語る」									講演会等	31	(18)	修理所特別公開	2		茶会等	1	(1)	映画上映会	2	(1)	観光イベント	8	(1)	展示	6		まほろば寄席	2		トークイベント	3		シンポジウム	1		公開講座	12		サンデートーク	12		世界遺産学習	30		正倉院展ボランティア解説	20		その他	16	(10)	計	146	(31)
講演会等	31	(18)																																																				
修理所特別公開	2																																																					
茶会等	1	(1)																																																				
映画上映会	2	(1)																																																				
観光イベント	8	(1)																																																				
展示	6																																																					
まほろば寄席	2																																																					
トークイベント	3																																																					
シンポジウム	1																																																					
公開講座	12																																																					
サンデートーク	12																																																					
世界遺産学習	30																																																					
正倉院展ボランティア解説	20																																																					
その他	16	(10)																																																				
計	146	(31)																																																				
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	19	20	21	22																																													
	施設の有効利用件数	146 件	—	—		122	84	59	146																																													
	うち有償利用件数	31 件	—	—		18	23	21	31																																													
年度実績評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)																																																					
中期計画記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進																																																					
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調																																																	

中項目	1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	--------------------------

事業名	(3) 施設有効使用の推進							
担当者	担当部課	交流課	事業責任者	主任主事 藤崎秀典				
実績・成果	・文化交流展示室を紹介する講座の開催や各特別展に関連する講演会を開催した。 ・ミュージアムホール、エントランスホール、研修室、茶室等において、館主催事業及び各種団体主催のイベントを開催するとともに、希望団体にはミュージアムホール、研修室、茶室の貸出を行った。 ・今年利用開始した茶室のリーフレットを作成し、茶道関係者に配布を行った。 ・各種国際シンポジウム、アジア諸国に関するイベント、留学生の日のイベント等を開催した。 ・ガムランワークショップや、コンサートの開催等を継続的に実施し、施設の有効活用を促進した。 ミュージアムホールの利用 77件 (内 有料 7件) 研修室の利用 77件 (内 有料 63件) 茶室の利用 20件 (内 有料 6件) その他(エントランスホール 外) 147件 (内 有料 0件)							
補足事項	・特別展開連講演会 「古伊万里」展関連 14代柿右衛門氏講演会 (期間：5/8, 参加者数：300名) 等を開催した。 ・主催イベント 今年利用開始した茶室の一般来館者へのお披露目と茶道関係者へのPRも兼ねて開館5周年記念事業として「九博大茶会」(期間：10/9～10/11, 10/13～10/17, 10/23, 10/24, 10/30, 10/31 参加者数：1,962名) 等を開催した。 ・各種団体主催イベント 吉野ヶ里 Days in 九博 (期間：8/28～8/29, 参加者数：1,314名)、みかわち焼展 (期間：11/23～11/28, 参加者数：3,495名) 等を開催した。 ・国際シンポジウム 「契丹帝国(遼王朝)の美術と文化」(期間：12/18, 参加者数：117名) 等を開催した。 ・コンサート きゅーはくミュージアムコンサートを毎月開催した。							

吉野ヶ里 Days in 九博

茶室 (宝満亭)

定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	19	20	21	22
	施設有効利用件数	321件	—	—		188	193	250	321
	うち有償利用件数	76件	—	—	28	45	69	76	

年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)
中期計画 記載事項	(3)施設有効利用の推進 ・施設の利用推進
中期計画に対して順調に成果を上げているか。	順調

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化								
事業名	(3) 施設有効利用の推進								
担当者	担当部課	東京文化財研究所管理部			事業責任者	管理部長 北出猛夫			
実績・成果	・セミナー室、会議室等を利用することにより、施設の有効利用の推進を図った。 ・研究成果を広く一般にも公表するためのオープンレクチャーを毎年秋に開催。また、このレクチャーは、台東区との連携事業として「上野の山文化ゾーンフェスティバル」の講演会シリーズのプログラムの一つとしても企画された。								
補足事項	 第44回オープンレクチャー「人とモノの力学」の様様								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価		19	20	21	22
	施設の有効利用件数	196 件	—	—	経年 変化	266	140	178	196
	うち有償利用件数	12 件	—	—		40	21	13	12
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)								
中期計画 記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調				

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	----------------------------

事業名	(3) 施設有効利用の推進								
担当者	担当部課	研究支援推進部	事業責任者	研究支援推進部長 多 昭彦					
実績・成果	会議室、セミナー室等一般の利用に供することが可能な施設の有料貸付を実施し、施設の有効利用の推進を図った。								
	施設名		22 年度						
	平城宮跡資料館講堂		183 件 (内 有償貸与 24 件)						
	平城宮跡資料館小講堂		143 件 (内 有償貸与 8 件)						
	寄宿舍施設		1,087 件 (内 有償貸与 61 件)						
	飛鳥資料館講堂		60 件 (内 有償貸与 0 件)						
	その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)		16 件 (内 有償貸与 12 件)						
	合計		1,489 件 (内 有償貸与 105 件)						
	①一般利用申し出への行政サービスの向上を図る方針のもとに、ウェブサイト上での施設利用紹介等による積極的有効利用 (貸付等) の促進を図った。								
	②奈良文化財研究所が企画実施する研修等に際して、宿泊施設の有効活用を図った。								
③上記のほか、平城宮跡資料館、飛鳥資料館の各ミュージアムショップ (売店) の運営を外部委託し、図録等の販売を通して来館者の利便に供した。									
補足事項	平成 21 年度実績								
定量的評価	施設名		21 年度						
	平城宮跡資料館講堂		26 件 (内 有償貸与 1 件)						
	平城宮跡資料館小講堂		35 件 (内 有償貸与 0 件)						
	寄宿舍施設		1,115 件 (内 有償貸与 27 件)						
	飛鳥資料館講堂		4 件 (内 有償貸与 0 件)						
	その他 (本庁舎・監理棟・収蔵庫等)		31 件 (内 有償貸与 12 件)						
	合計		1,211 件 (内 有償貸与 40 件)						
	項目	実績	目標値	評価	経年 変化	19	20	21	22
	施設の有効利用件数 うち有償利用件数	1,489 件 105 件	— —	— —		1,841 75	2,079 71	1,211 40	1,489 105
	年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、F の理由)							
中期計画 記載事項	(3) 施設有効使用の推進 ・施設の利用推進								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。			順調						

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化									
事業名	(4) 民間委託の推進									
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、京都国立博物館総務課、奈良国立博物館総務課、九州国立博物館総務課、東京文化財研究所管理部、奈良文化財研究所管理部管理課			事業責任者	事務局長 金谷 史明				
実績・成果	- 全ての施設において、電気設備保守業務、機械設備保守業務、昇降機設備保守点検業務、売札業務、各種事務補助作業、清掃業務、構内樹木等維持管理業務等について、民間委託を実施している。 - 博物館は警備・展示室監視等業務の大部分を外部委託している。また、研究所は警備業務の全てを外部委託している。 - 博物館の来館者サービスに関しては、インフォメーション業務、図書・写真資料を閲覧等の利用に供するサービス及び図書整理業務等について民間委託を実施している。 - 東京国立博物館及び東京文化財研究所で施設管理・運営業務（展示等の企画運営を除く）について民間競争入札を実施しているほか、東京国立博物館では展示場における来館者応対等業務についても民間競争入札を実施し、平成22年4月1日から民間競争入札による民間委託を実施した。									
補足事項	- 外部委託が可能な業務については、民間委託を進めている。 - また、複数の業務についての包括契約化、複数年契約、近隣の機関及び法人内同一地域での一括契約等の実施により、業務の効率化を図っている。 - 民間委託の増加に伴い、契約手続・監督等の業務が増加しているが、人員削減が急速に進んでいるため、業務継続に必要なノウハウが館に蓄積されないなどの問題が生じている。									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	19	20	21	22	
	—	—	—	—		—	—	—	—	
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)									
中期計画 記載事項	(4) 民間委託の推進 - 一般管理部門を含めた組織・業務の見直しを行い、民間開放をさらに積極的に進める。 - 館の警備・清掃業務について民間委託を推進する。 - 来館者サービスを中心に業務の見直しを行い、民間委託を積極的に進める。									
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調					

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化																												
事業名	(5) 一般競争入札の推進																												
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、京都国立博物館総務課、奈良国立博物館総務課、九州国立博物館総務課、東京文化財研究所管理部、奈良文化財研究所管理部管理課			事業責任者	事務局長 金谷 史明																							
実績・成果	・ より多くの競争参加者を募るため、公告期間をこれまでの「10日間以上」から自主的措置として20日間以上確保するように努めた。 ・ 列品等修理契約について、修理契約委員会を設置し、修理可能な業者が複数存在すると判断された契約は企画競争を実施している。 ・ レストラン・ミュージアムショップについて、東京国立博物館（レストラン）及び奈良国立博物館（ミュージアムショップ・レストラン）において企画競争を実施した。今後も、賃貸借期間終了時に順次企画競争を実施予定である。 ・ その他新たに、警備機器賃貸借及び警備業務、カラー複写機の賃貸借及び保守業務等の契約について一般競争入札を実施した。 一般競争入札件数 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>202件</td> <td>175件</td> <td>△27件</td> </tr> </table> ※特殊要因：21年度単年度の補助金にかかる一般競争入札件数の減少 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>補助金名称</th> <th>件数</th> </tr> <tr> <td>文化芸術情報電子化推進費補助金</td> <td>41件</td> </tr> </table> (参考) 特殊要因を考慮した一般競争入札件数 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>161件</td> <td>175件</td> <td>14件</td> </tr> </table>									年度	21年度	22年度	増減	件数	202件	175件	△27件	補助金名称	件数	文化芸術情報電子化推進費補助金	41件	年度	21年度	22年度	増減	件数	161件	175件	14件
年度	21年度	22年度	増減																										
件数	202件	175件	△27件																										
補助金名称	件数																												
文化芸術情報電子化推進費補助金	41件																												
年度	21年度	22年度	増減																										
件数	161件	175件	14件																										
補足事項	・ 「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて（21年11月17日閣議決定）」に基づき、外部委員で構成された契約監視委員会を設置し、機構が22年度に締結した契約（委員会開催時見込みの契約も含む。）の点検・見直しを行った。 第1回契約監視委員会（平成22年12月3日開催） 第2回契約監視委員会（平成23年3月17日開催） ・ 総務省からの要請に基づき、「独立行政法人整理合理化計画（19年12月24日閣議決定）」の一環として、随意契約の見直しを行い、随意契約によることがやむを得ないものを除き、引き続き競争契約に移行している。																												
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	19	20	21	22																				
	一般競争入札件数	175件	—	—		98件	142件	202件	175件																				
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)																												
中期計画 記載事項	(5) 競争入札の推進 ・ 契約業者の競合を一層推進することにより、経費の効率化を図る。																												
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調																								

中項目	Ⅱ-1 職員の意識改革、サービスの向上、業務の効率化
-----	----------------------------

事業名	(6) 定量的な目標の設定																																					
担当者	担当部課	本部財務課（取りまとめ） 東京国立博物館総務部経理課、 京都国立博物館総務課、奈良国立博物館総務課、九州国立博物館総務課、東京文化財研究所管理部、奈良文化財研究所管理部管理課			事業責任者	事務局長 金谷 史明																																
実績・成果	1) 入場料収入（共催展を除く）及びその他収入について、1. 16%の増加を目指す。 下表のとおり、13. 38%となり、目標を上回ることができた。 （単位：千円） <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th></th><th>平成20年度</th><th>平成21年度</th><th>平成22年度</th></tr> <tr> <td>自己収入基準額</td><td>864, 089</td><td>874, 112</td><td>884, 252</td></tr> <tr> <td>自己収入目標額</td><td>874, 112</td><td>884, 252</td><td>894, 510</td></tr> <tr> <td>自己収入実績額</td><td>——</td><td>949, 900</td><td>1, 002, 524</td></tr> <tr> <td>増 加 率</td><td>——</td><td>8. 67%</td><td>13. 38%</td></tr> </table> ※ 受託研究・受託事業を除く。 ※ 自己収入目標額は、前年度の目標額から1. 16%増加した場合の額。 ※ 増加率は、自己収入基準額（前年度の目標額）に対する増加率。 2) 寄附金226件及び科学研究費補助金76件の確保を目指す。 下表のとおり、寄附金及び科学研究費補助金ともに目標件数を上回ることができた。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th></th><th>目標値</th><th>平成22年度</th></tr> <tr> <td>寄附金</td><td>226件</td><td>314件</td></tr> <tr> <td>科学研究費補助金</td><td>76件</td><td>81件</td></tr> </table>										平成20年度	平成21年度	平成22年度	自己収入基準額	864, 089	874, 112	884, 252	自己収入目標額	874, 112	884, 252	894, 510	自己収入実績額	——	949, 900	1, 002, 524	増 加 率	——	8. 67%	13. 38%		目標値	平成22年度	寄附金	226件	314件	科学研究費補助金	76件	81件
	平成20年度	平成21年度	平成22年度																																			
自己収入基準額	864, 089	874, 112	884, 252																																			
自己収入目標額	874, 112	884, 252	894, 510																																			
自己収入実績額	——	949, 900	1, 002, 524																																			
増 加 率	——	8. 67%	13. 38%																																			
	目標値	平成22年度																																				
寄附金	226件	314件																																				
科学研究費補助金	76件	81件																																				
補足事項																																						
定量的評価	項目	実績	目標値	評価		19	20	21	22																													
	・自己収入増加率	13.38%	1.16%	S	経年 変化	—	—	8.67%	13.38%																													
	・寄附金	314件	226件	A		—	—	290件	314件																													
	・科学研究費	81件	76件	A		—	—	86件	81件																													
年度実績 評価総括	S (A) B C F (S、Fの理由)																																					
中期計画 記載事項	Ⅲ 予算 収入面に関して、実績を勘案しつつ、税制措置も活用した寄附金などの外部資金、施設使用料等の財源の多様化を図り、法人全体として積極的に自己収入の増加に努めることにより、計画的な収支計画による運営を図る。																																					
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調																																	

中項目	Ⅱ-2 事業評価の実施及び職員の意識改善
-----	----------------------

事業名	事業評価の実施及び職員の意識改善								
担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者			総務企画課長 藤本慎也			
実績・成果	・自己点検評価、および外部有識者による外部評価等を行い、その結果を機構の事業等に反映させた。 ・東博全職員を対象とした接遇研修（23 年 1 月）等、各種研修・講習会を通じて職員の理解促進、意識や取り組みの改善を図った。 ・平成 20 年度運営改善コンクール採択案件のフォローアップを行った。								
補足事項	・平成 20 年度運営改善コンクール採択案件のフォローアップについて詳細は以下のとおり。 ①生理用品の自動販売機の設置について： 東博に 2 台、21 年度より継続して設置した（平成館・本館）。京博・奈良博・九博においては、申し出られた方に個々に対応している。 ②撮影申込者増加のための撮影紹介パンフレットの作成・HP の掲載方法の修正（東博）： 21 年度製作のパンフレットを継続して配付した。東博ウェブサイトについては、撮影紹介ページのコンテンツを新規作成し、平成 23 年 4 月のリニューアルに合わせて公開予定である。 ③研究者一覧（データベース）の作成： 学芸・研究系職員連絡協議会での検討に基づき、各施設の HP にて公開した。 ④規程集のウェブ化： 22 年 10 月に実施した。詳しくは処理番号 9330 を参照。								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	19	20	21	22
	—	—	—	—		—	—	—	—
年度実績 評価総括	S ① B C F (S、F の理由)								
中期計画 記載事項	外部有識者も含めた事業評価の在り方について適宜、検討を行いつつ、年 1 回以上事業評価を実施し、その結果は組織、事務、事業等の改善に反映させる。また、研修等を通じて職員の理解促進、意識や取り組みの改善を図っていく。								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調				

中項目	Ⅱ-3 情報の安全性向上
-----	--------------

事業名	情報の安全性向上								
担当者	担当部課	総務企画課	事業責任者			総務企画課長 藤本慎也			
実績・成果	・保有個人情報管理監査を行い、個人情報管理のより一層の適正化を図った（23年1月）。 ・情報システム点検・評価要項に基づき、奈良文化財研究所を対象に、情報システム監査を行った。（23年2月28日） ・国立文化財機構規程集の全文をPDF化し、グループウェア上で機構内全職員に公開した（22年10月）。以後、最新版へのアップデートを継続して行っている。 ・機構ウェブサイトのリニューアルとともに、サーバーのハード・ソフトを最新版に入れ替えることで、セキュリティの向上を図った。								
補足事項									
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	19	20	21	22
	—	—	—	—		—	—	—	—
年度実績 評価総括	S ㊤ B C F (S、Fの理由)								
中期計画 記載事項	機構が管理する情報の安全性向上のため、必要な措置をとる。								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調				

中項目	Ⅱ-4 人件費の削減
-----	------------

事業名	人件費の削減								
担当者	担当部課		総務企画課		事業責任者		総務企画課長 藤本慎也		
実績・成果	・人件費削減実績								
		17年度 (A分類 実績ベース)	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	22年度目標値 (17年度に 比して△ 5.00%)	
	実績(千円)	2,878,750	2,789,360	2,773,688	2,745,389	2,688,829	2,619,439	2,734,812	
	前年度対する削減率	—	△3.11%	△0.56%	△1.02%	△2.06%	△2.58%	—	
	17年度に対する削減率	—	△3.11%	△3.65%	△4.63%	△6.60%	△9.01%	—	
	17年度に対する削減率 (補正值)	—	△3.11%	△4.35%	△5.33%	△4.90%	△5.81%	—	
	・人事給与統合システムが平成20年4月から稼働し、機構全体として統一的な処理ができるようになった。さらに人件費の削減に向けたシミュレーション等により人件費に関する計画を円滑に企画・立案することができた。 ・地域手当について、平成22年度において平成21年度の率を据え置く方針が決定された。								
補足事項	※1 人件費削減実績表中の「補正值」とは、「行政改革の重要方針」(平成17年12月24日閣議決定)による人事院勧告を踏まえた官民の給与較差に基づく給与改定分を除いた削減率である。なお、平成18年、平成19年、平成20年、平成21年、平成22年の行政職(一)職員の年間平均給与の増減率はそれぞれ0%、0.7%、0%、△2.4%、△1.5%である。 ※2 レクリエーション経費は運営費交付金からの支出はない。レクリエーション経費以外の福利厚生費(法定外福利費)は15,030千円である。また、国とは異なる諸手当は機構にはない。								
定量的評価	項目	実績	目標値	評価	経年変化	19	20	21	22
	人件費削減率(17年度比較)	△9.01%	17年度決算額に比して5年間で5%削減	S		△3.65%	△4.63%	△6.60%	△9.01%
年度実績評価総括	S ㊤ B C F (S、Fの理由)								
中期計画記載事項	・「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」(平成18年法律第47号)に基づき、国家公務員に準じた人件費改革に取り組み、平成18年度からの5年間に於いて、△5%以上の人件費削減を行う。また、国家公務員の給与構造改革を踏まえた給与体系の見直しを行う。更に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」(平成18年7月7日閣議決定)に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成22年度まで継続する。								
中期計画に対して順調に成果を上げているか。					順調				